# 羅　針　盤　（進 路 だ よ り）

令和５年１２月
庄和高等学校　進路指導部

早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。
今年も、進路室には、上級学校（大学や専門学校）の入試課の方や企業の採用担当者といったお客様がたくさん来校されました。上級学校も企業も高校生の皆さんに積極的にオープンキャンパスや企業見学会に参加して、進学先や就職先を比較検討して欲しいとおっしゃっていました。今は、進学先や就職先を選ぶ時代なのです。

**<進学>**

今年いただいた指定校推薦枠は、大学が81校、短期大学が33校、専門学校が133校でした。本校では、例年同様、学校推薦型選抜（指定校推薦と公募推薦）での進学が主流で、進学希望者の大半が、2学期中に進学先が決定しています。（詳細は、3月発行予定の羅針盤にて報告予定）
大学は、いよいよ全入時代と呼ばれる時がやってきました。大学に進学すればよいのではなく、どこの大学でどのような学びをし、どのような学生生活を送るのかが重要となります。今年の3年生は、入れる学校ではなく、行きたい学校にこだわり、公募推薦や総合型選抜（AO入試）で、チャレンジする姿が例年になく増えた印象でした。

**<就職>**

実際に8月までに学校に届いた求人票は、800社以上で、9月の1回目の採用試験終了後も採用活動継続中の企業から求人票が届き続けています。今年度の3年生で、学校推薦で民間企業への就職を希望した人は10名でしたが、全員10月中に採用が内定しています。たくさんの求人票をいただきましたが、就職希望者のほとんどは、庄和高校の卒業生が活躍している通勤可能圏内の企業への就職となっています。

冬休みは短い時間ですが、今年一年を振り返り、今後について考える時間、そして保護者の方に皆さんの気持ち（進路希望や不安など）を話す時間を是非つくっていただいてください。皆さんの高校生活はもちろん、卒業後の進路希望を実現するには、保護者の方の応援が必要です。また1・2年生は、1月下旬に、担任の先生との面談も予定されていますので、自分の状況（希望や不安など）を担任にも伝えてください。2学期の始業式で進路指導部より「自転車」を用いてお話ししましたが、「進路」とは、単に卒業後の「進む路」のことだけでなく、毎日の学校生活の積み重ねなのです。ここで、高校生活を進んで行く「自転車（自分の高校生活）のメンテナンス（振り返り）」をして、3学期は、授業や部活…といったたくさんのパーツでできている自転車で、保護者や先生方に応援していただきながら、それぞれの「なりたい自分」に向かってたくましく進んでください。そして、卒業後の進む路を決定する場面で「私は、高校生活で〇〇を一生懸命頑張りました。」と胸を張って話せるようになることを期待しています。

さて先日の朝学習にて、「私の流行語大賞」と「私の今年の漢字」と「私の印象深いニュース」について書いてもらいました。皆さんは、何と書きましたか？ スポーツや芸術の分野では、大きな感動をもらった反面、今年も国内外で、事故や事件、異常気象が多く報道され、辛く不安な気持ちになることが多い1年だったように感じます。痛ましい戦争で、罪のない人々の生命が失われ、大切な家族を亡くし、悲しみに暮れ、寒さの中おびえている人が今もたくさんいると思うと胸が締め付けられるように苦しくなります。私たちもある日突然恐怖におびえる日がやって来るのではないかという不安を抱えることが日常になってしまいました。早く争いを終わらせ、平和を取り戻してほしいと祈りながら、変化の激しい厳しい時代を生き抜いていかなければなりません。

今年「**リスキリング（学び直し）**」という言葉があちこちで取り上げられていました。変化の厳しい時代ですので、社会に出てからも新しい知識や技術を学ぶことが求められているのです。

夏休みから2学期にかけて皆さんの先輩（庄和高校の卒業生）と話をする機会が何度かありました。その中で特に印象に残ったお二人を紹介します。

Aさん （医療系の資格取得を目指している大学4年生）
「大学での資格取得のための勉強は難しく、実習も辛いことが多いけれど、高校生の時にどの科目もあきらめず一生懸命取り組んでいたことが基礎となって今の勉強を支えてくれている気がする。国家試験に合格して就職してもきっと勉強は続いていくのだと思うから今の勉強を頑張らないといけない。」

Bさん （卒業後すぐ車の製造販売をしている会社に就職し、接客に就いて5年目）
「就職してからも仕事をしていく上で専門分野の勉強と世の中のことを知っておく（一般常識）という勉強が日々続いていく。私は、人の為とかいう格好良いことでなく自分の為（自分の生活を充実させ、豊かに生きていくため）に働いているけれど、お客様が喜んでくれるとやりがいを感じてもっと頑張ろうと思う。最近は現在の仕事に直接必要ではない資格取得の勉強にも挑戦し、自分の可能性を広げる努力も始めた。」

これを聞いて私は、卒業生の成長ぶりに非常に感動し、勇気づけられました。私も学びたいこと（興味があることや苦手な分野）を忙しさや年齢など言い訳をして諦めることが多かったのですが、彼らの話を聞いて「少し前の自分より少しでも成長したい。」という気持ちになりました。

皆さんも今必要な「学びと経験」を積み重ねていってください。まずは、学校の授業をどの科目も手を抜かず、課題や考査にベストを尽くすことが基本です。そして、夏休み前にこの羅針盤でお伝えした「＋αの学び」に挑戦して欲しいと思います。＋αの学びは、机に向かってテキストを開くといった勉強だけでなく、部活動に打ち込むなども含みます。むしろ社会で求められる力は、教科の勉強よりも部活動や行事や委員会や当番といった学校生活全般における活動を誠実に取り組むことや、時には失敗や挫折など様々な体験を通して身についていくと感じています。

## <3 年生へ>

＊2学期は、多くの人が入学・就職試験の本番を迎え、卒業後の進路先を決めることができました。合格・内定をいただけた人は、おめでとうございます。皆さんの今までの取り組みや努力が評価された結果ではあります。またそれは自分一人の力だけではなく、今まで皆さんを育て見守ってくださっている方々のおかげでもあります。今までかかわってくれた方に丁寧に感謝の気持ちを表現し、これからも見守り応援していただけるような言動を期待します。

＊2学期以降進路が決まり、学校生活がおろそかになってしまった人もいるようです。合格・内定は、4月からの新しい生活への切符を手にしただけです。良いスタートが切れるように日々の生活を見直し、卒業式までは、学校中心の生活を送ってください。合格・内定していても、来春庄和高校を卒業し、健康で入学式・入社式を迎えることができなくてはすべてが台無しです。ここでもう一度自分を見つめ、律してください。

＊現在、2学期に入り、それぞれがテーマを見つけて探究してきた活動の発表を行っています。このようにテーマを設定し、興味関心について深めていくことや、課題の解決策を探していくといった探究活動は、今後の人生にも必要なことです。継続させていくことは、リスキリング（学び直し）にも通じるところがあります。

## <2 年生へ>

＊期末考査が終了後、進路学習に参加しました。

「表現トレーニング（文章を書く力をつける）」では、「進学や就職のための自己PR」について講師を招いて講義

いただき、演習を行いました。3学期は、実際に「自己PR書」を書き、添削していただく予定です。それを来年の進路活動に必要な志望理由書へとつなげていきます。

「上級学校の模擬授業」では、9 校の大学・短大、14校の専門学校、そして就職関連（必要な心構えや準備について）の講師に御来校いただき、模擬授業形式の進路ガイダンスを 2 講座ずつ受講しました。 今後、複数のオープンキャンパスへ足を運び、学校選びを本格的に開始していきましょう。

＊大学進学や医療系（看護・理学療法など）進学のために模擬試験を受験した人もいます。自分の学力を客観的にみるために今後も定期的に模試を受け、事後学習もしっかりやりましょう。

＊医療系進学や公務員試験受験対策のための講習会や模擬試験が各専門学校などで実施されています。無料やオンライン形式もありますので、積極的に参加してください。医療系の進学は、推薦入試でも基本的には、学力試験を課せられます。公務員試験は、学校では学ばない特殊な内容ですので、講習会への参加は必須です。講習会や説明会などの情報は、2Fの進路室前に掲示します。定期的にチェックしにきてください。

＊3学期は、進路別に分かれて、3年生から進路活動の報告を聞く機会（3年生に聞く）や、今後の進路活動についての流れを現3年生の指導をした教員から聞く機会（第0回進路分野別ガイダンス）を計画しています。

＊冬休みは是非、自分の進路について考えていることを保護者に話してください。進路活動は、保護者の理解と協力がなければ目標の実現は難しいです。特に進学の場合は、2学期の入試で合格後、数日中に入学金や前期の授業料を納入し、入学手続きをしなければなりません。奨学金は、進学後に手続きをしますので、入学金や初期の学費には充てられません。学費も学校ごとに違うので、オープンキャンパスや学校説明会に参加した際は、学費についても確認しておきましょう。

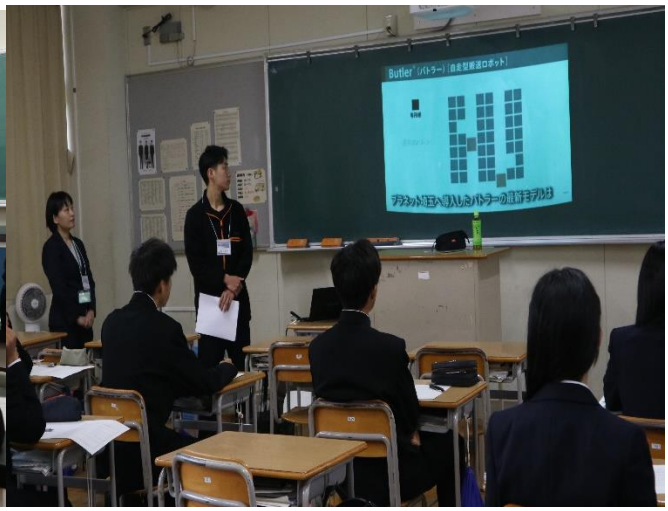
＜2年生 「上級学校模擬授業」12月19日＞

＜1年生＞

＊「職業を知る」という進路行事では、10の企業や施設の採用担当者や卒業生を講師としてお招きし、会社や仕事について貴重なお話やアドバイスをいただきました。 高校時代から現在のお仕事に至るまでざっくばらんに生の声を聴けたことで、「働く」ということがぐっと身近になった人も多かったようです。

＊卒業後の進路を考えるにあたり、「適性検査」を受け、自分の適性について客観的に分析しました。

＊入試の小論文や入社試験の作文を書く力を育成するために表現トレーニングに取り組み始めました。

＊3学期末には、進路希望ごとに分かれ、外部から多分野の講師を招き、講話いただく「進路分野理解ガイダンス」を企画しています。

＜1年生 「職業を知る」 11月10日＞